

## 実践5 「自分と友達の違いについて考えよう」

### 身に付けさせたい力

違う考えを受け入れる力、自分の考えを話す力

### ねらい

学校生活の基盤となる学級内の友人との相互理解を図る。学級内の友人のことを理解し、自分のことを理解されることによって、親しみや安心感のある学級の雰囲気醸成する。

### 事前活動

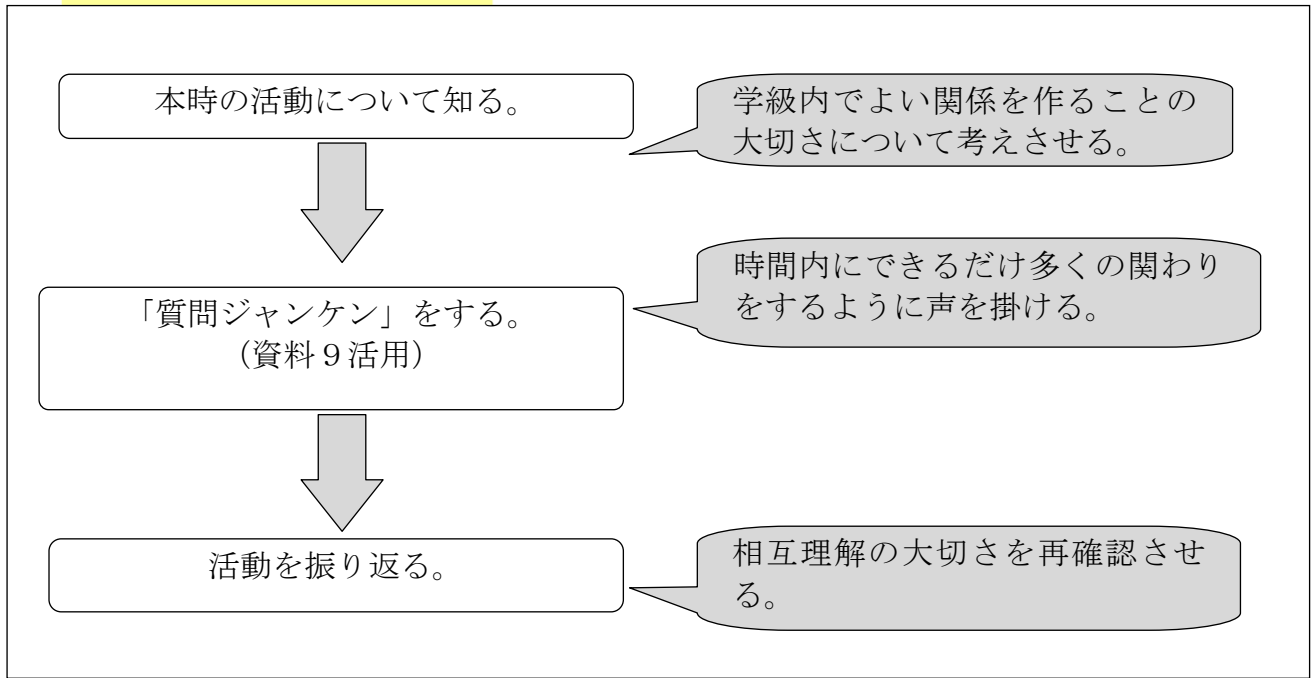
準備物（質問リスト、感想カード、ストップウォッチ）を用意する。

### 活動の内容と留意点

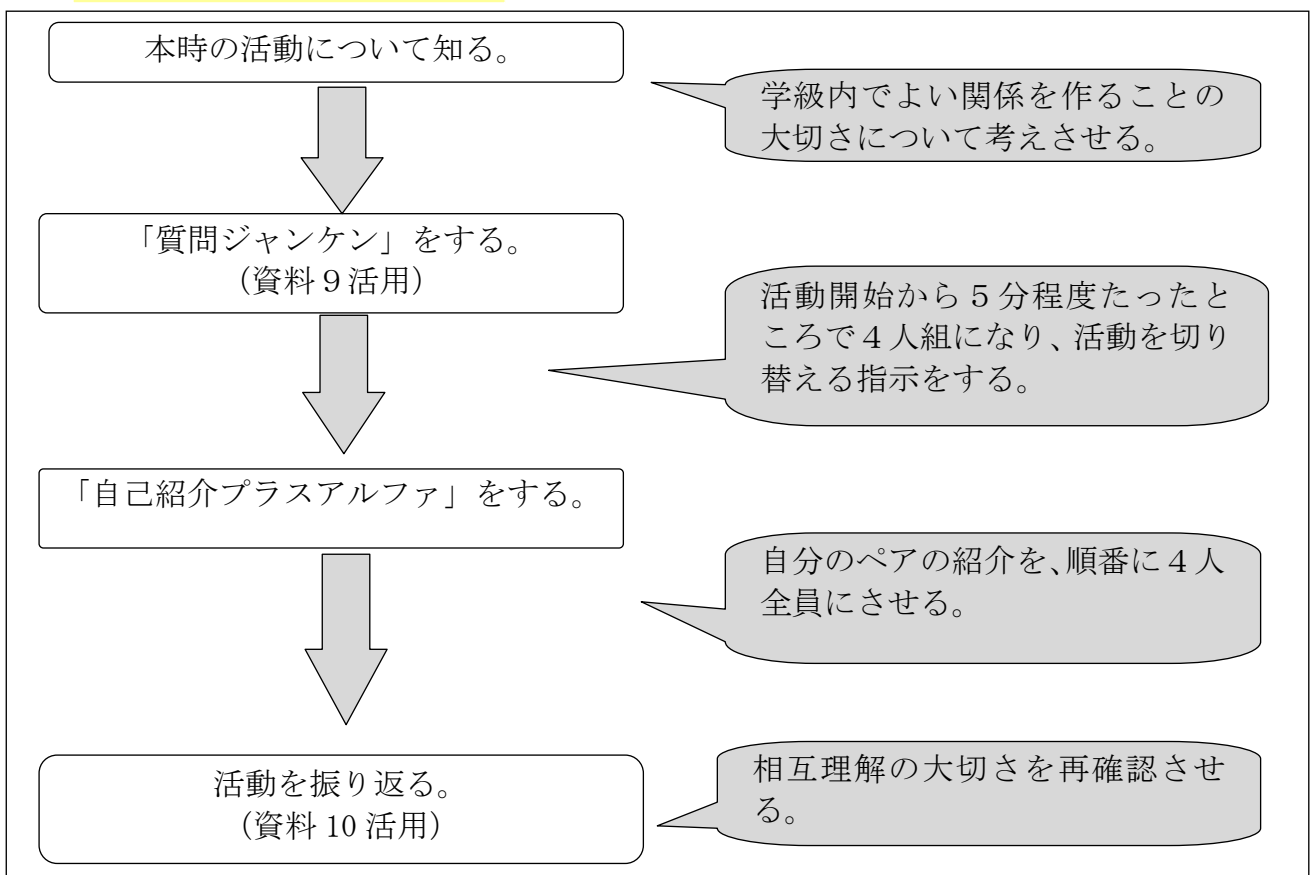
#### 基本スタイル 50分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す生徒の姿
1 本時の目標と活動内容を説明する。	5分	○ 親しみや安心感のある学級の雰囲気を 作るための活動であることを確認する。	
2 「質問ジャンケン」 をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">(1) リスト質問 ↓ (2) リスト質問 + オリジナル質問 (資料9活用)</div>	15分	○ 最初は質問リストを使わせる。その後、 リストの質問に加えて自分で考えた質問 をさせる。 ○ 時間内にできるだけ多くの級友と関わ るように留意させる。	①
3 「自己紹介プラスア ルフア」をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">(1) 2人組で自己紹 介をし合う。 ↓ (2) 4人組になり相 方紹介をし合う。 (2～3回繰り返す)</div>	25分	○ 自己紹介と相方紹介の時間配分は以下 の例を参考にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">【時間配分の例】 (1) 自己紹介1分+質問1分(×2人) ↓ (2) 相方紹介1分(×4人)</div>	②
4 活動を振り返る。 (資料10活用)	5分	○ 二つの活動を通して感じたり考えたり したことを感想カードに記入させた後、 4人組の中で発表させる。	③

## 短縮スタイル 10分



## 短縮スタイル 20分



## 目指す生徒の姿

- ① クラスの友達とよい関係を作ろうという気持ちを持っている。
- ② 人によって、発想や考えが多様であることを理解している。
- ③ 演習では相手の考えや気持ちを意識した質問の仕方や答え方を工夫している。



## 資料 9

### ☆ 質問リスト

- 好きな教科は何ですか？
- 通学は何分ぐらいかかりますか？
- 好きな食べ物は何ですか？
- 朝は何時に起きますか？
- 好きな色は何ですか？
- 好きなくだものは何ですか？
- ペットを飼うなら何を飼いたいですか？
- 趣味は何ですか？
- 特技があったら教えてください。
- 好きな乗り物は何ですか？
- 旅行に行くならどこに行きたいですか？
- 好きな季節は何ですか？
- 行ってみたい国はありますか？
- きらいな食べ物は何ですか？
- 休みの日には何をしていることが多いですか？
- 好きな花は何ですか？



## 実践6 「適切な言葉遣いを身に付けよう」

### 身に付けさせたい力

礼儀正しく人と接する力

### ねらい

敬語について学び、正確な敬語の使い方を身に付ける。相手、場所、状況に応じて敬語を使い分けることにより、円滑な人間関係を形成する。

### 事前活動

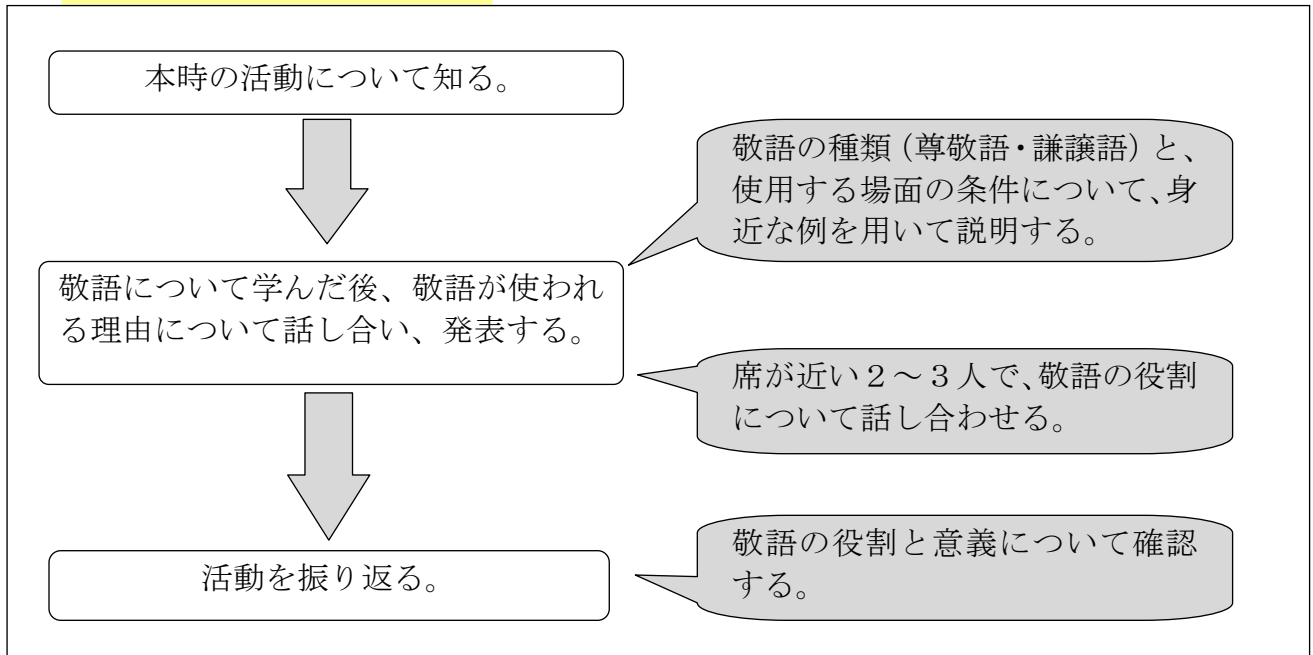
準備物（ワークシート、感想カード）を用意する。

### 活動の内容と留意点

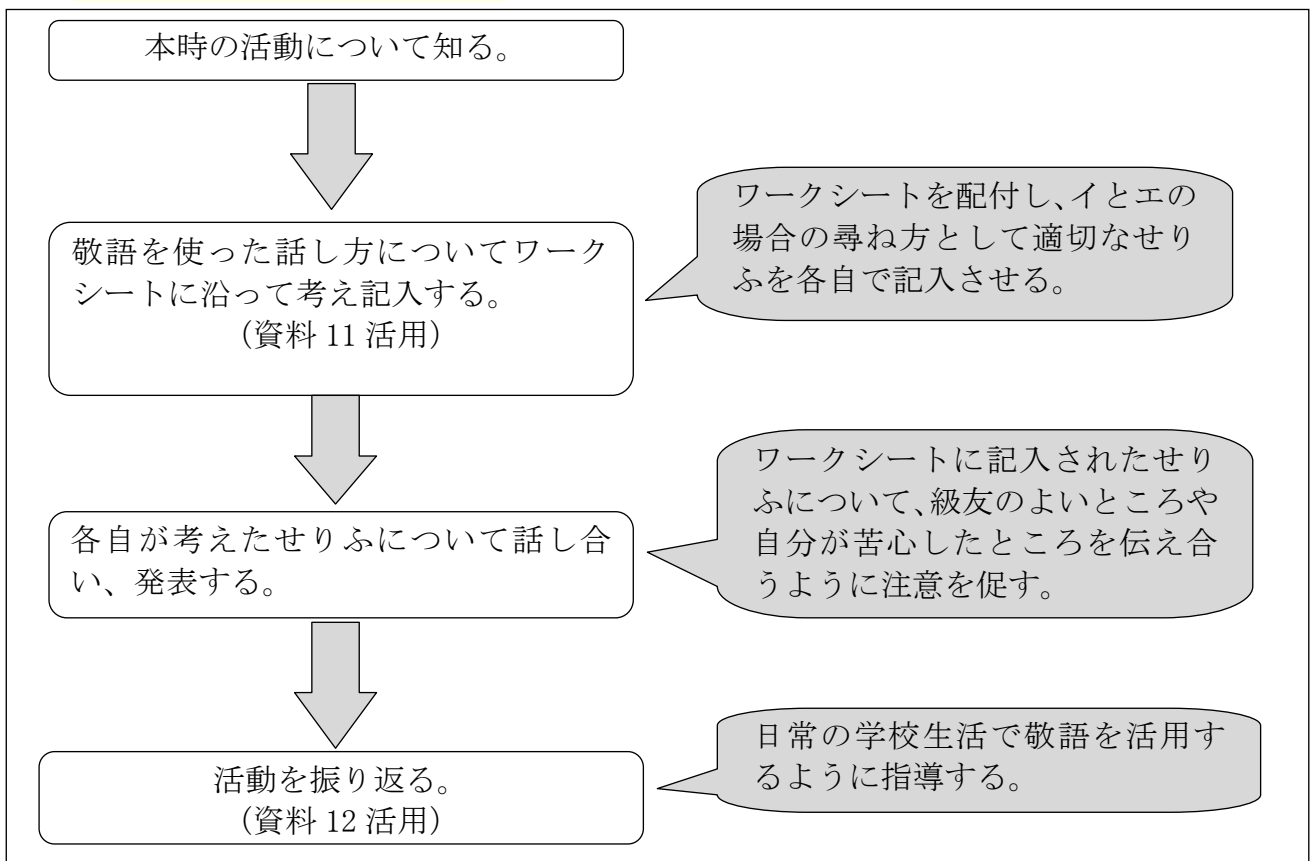
#### 基本スタイル 50分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す生徒の姿
1 敬語についての知識を確認する。	5分	○ 敬語を使った経験について質問し、生徒の実態を把握する。	
2 なぜ敬語を使うのか考える。	5分	○ コミュニケーションを円滑に行い、確かな人間関係を築くために敬語が必要であることを理解させる。	①
3 敬語を使った話し方を考える。 ア 見知らぬ人に道順を尋ねる場合 イ 先輩と話す場合 ウ 他校の生徒と話す場合 エ 先生に相談する場合 (資料11活用)	15分	○ 相手との関係に注意して敬語（尊敬語と謙譲語）を使い分けるよう注意させる。 ア 中学校への道順を教えてほしい イ 道具を片付ける場所を教えてほしい ウ 体育館の場所を教えてほしい エ 勉強方法について教えてほしい ○ グループ内で相談してせりふをワークシートに記入させる。	②
4 3人組を作り、記入したせりふに沿って、役割を交代しながら演じる。	20分	○ 役割（①自分、②相手、③観察者）はローテーションで順番に行わせる。 ○ 演じるときは相手の顔を見るように留意させる。	③
5 活動を振り返る。 (資料12活用)	5分	○ 敬語の役割と意義について確認し、学校生活の中で敬語を適切に活用するように日常化を図る。	

## 短縮スタイル 10分



## 短縮スタイル 20分



## 目指す生徒の姿

- ① 人間関係の中で相手を尊重しようとする態度が身に付いている。
- ② 敬語の必要性を認識し、適切な使い方を理解している。
- ③ 相手との関係に注意して、状況に応じて敬語を使い分ける工夫をしている。



# 資料 11

## 「適切な言葉遣いを身に付けよう」ワークシート



### 1 敬語の種類

語

・・・動作（行為）主に対する敬意を表す敬語  
(動作をする人の行動を敬った言い方をする表現)

語

・・・動作（行為）の受け手に対する敬意を表す敬語  
(動作をする人の行動をへりくだった言い方をする表現)

語

・・・話し手が聞き手に対して丁寧な言葉遣いをして敬意を表す敬語  
(尊敬の気持ちをこめて言葉自体を美しく言う表現)

### 2 次の場面でのせりふを考えてみよう

ア 見知らぬ人（大人）に、「中学校」までの道順を教えてください

イ 部活動の先輩に、練習道具を片づける場所を教えてください

ウ 他の中学校に行ったときに、他校の生徒に体育館の場所を教えてください

エ 先生に、勉強の仕方について教えてください

オ

(先生からの課題)





## 実践7 「上手に断ろう」

### 身に付けさせたい力

助けを求める力、助ける力

### ねらい

相手の気持ちも考えながら、自分もストレスのかからない断り方を身に付ける。相手の立場に応じた断り方のスキルを学び、豊かな人間関係づくりに生かす。

### 事前活動

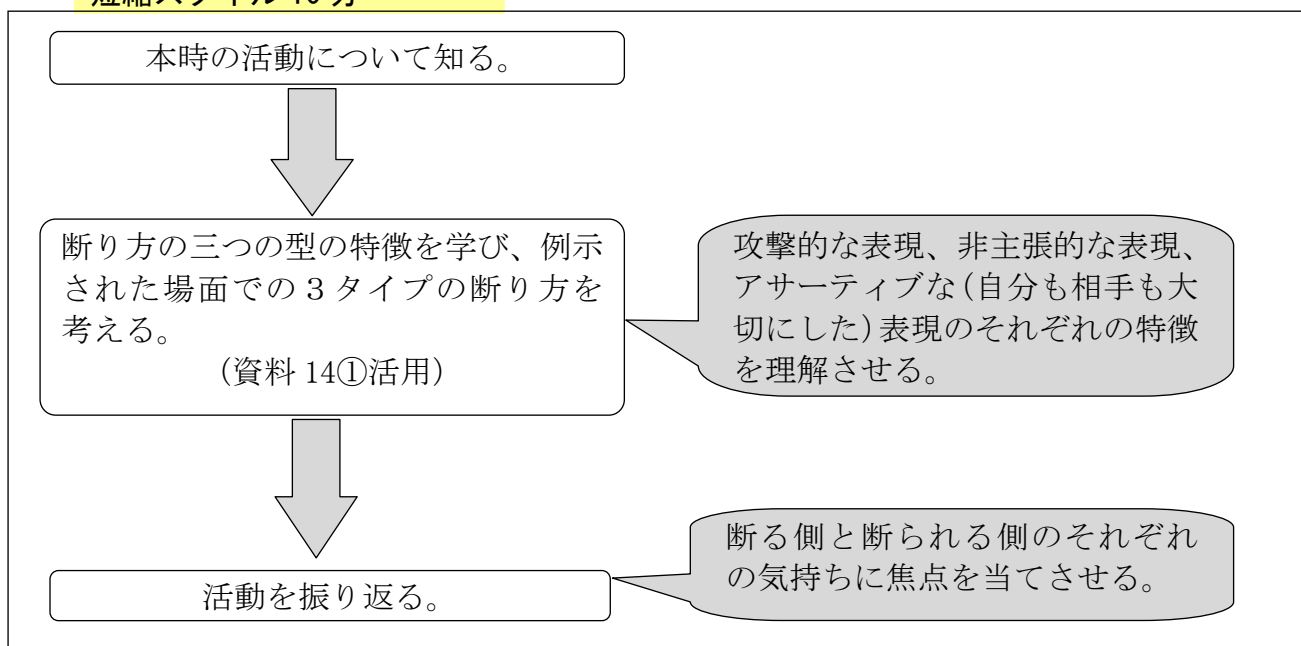
準備物（資料、ワークシート、感想カード）を用意する。

### 活動の内容と留意点

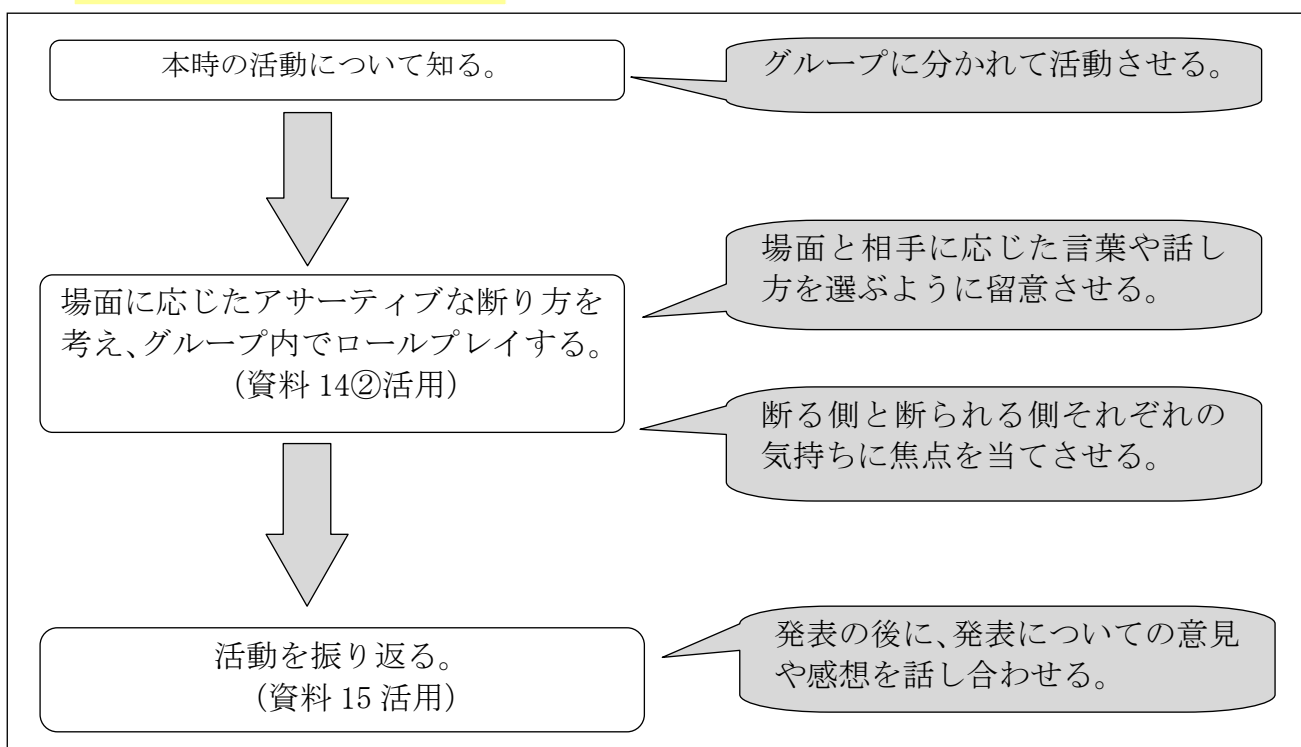
#### 基本スタイル 50分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す生徒の姿
1 本時の目標を確認し、断ることについて考える。	5分	○ 提案や依頼を断ることについて、その場面の状況や相手の心情について考えさせる。	
2 断り方の三つの型について資料を用いて学ぶ。 (資料13活用)	5分	○ 攻撃的な表現、非主張的な表現、アサーティブな（自分も相手も大切にしたい）表現のそれぞれの特徴を理解させる。	①
3 例示された場面での3タイプの断り方を考える。 (資料14①活用)	5分	○ それぞれの表現の特徴に留意させる。	
4 グループに分かれて、ワークシートに設けられた場面に応じたアサーティブな断り方を考える。 (資料14②活用)	10分	○ 場面と相手に応じた言葉や話し方を選ぶように留意させる。 ○ 自分も相手も気持ちのよい断り方という視点を大切にさせる。	②
5 各グループで考えた「断る言葉」でロールプレイを行い、全体の前で発表する。	20分	○ 場面Aと場面Bのうち一つを選んでロールプレイさせる。 ○ ロールプレイの際に、断る側と断られる側それぞれの気持ちに焦点を当てさせる。	③
6 活動を振り返る。 (資料15活用)	5分	○ 日常の学校生活の中でアサーティブな表現を活用するように指導する。	

### 短縮スタイル 10分



### 短縮スタイル 20分



### 目指す生徒の姿

- ① 提案や依頼を断ることについて、状況や心情を理解している。
- ② 攻撃的な表現、非主張的な表現、アサーティブな表現の特徴を理解し、適切に使い分けができている。
- ③ 表現の特徴を理解した上で、相手も自分も気持ちのよい断り方という視点を大切にできている。



## 資料 13

### 資料 「上手に断ろう」

あなたは友達や先輩、先生方からの頼みごとを断ることが自然とできますか？相手の嫌な顔を見たくないとか、断りにくいからといって、断りたいのに断れないという経験はありませんか？自分の気持ちを言わずに、心の内側にため込んでいくと大きなストレスになってしまいます。相手との関係を大切にしながら、断るべきことをきちんと断ることができるといいですね。

#### ポイント1 断り方には、3タイプある！

アグレッシブ（攻撃的）な断り方

相手を非難する言い方  
（相手が無理をしたり傷ついたりしやすい）

ノンアサーティブ（非主張的）な断り方

自分の意思をはっきり言わない  
（自分が無理をしたり傷ついたりしやすい）

アサーティブ（自分も相手も大切にする）断り方

相手の気持ちを考えながら、自分の意思をはっきり伝える。  
（自分も相手も無理をしたり傷ついたりしない）

※アサーティブな言い方を使ったコミュニケーションを、**アサーション**と言います。

#### ポイント2 アサーションにはパターンがある！

##### ① 謝罪の一言

例えば、「ごめんね」「ごめんなさい」「すみません」

##### ② 断らなければならない理由や事実

例えば、「今日は〇〇があって……」「この後、別の用事があるって」

##### ③ 自分の意思（断り）をはっきりと

例えば、「今は無理なんです」「今はできないんです」

##### ④ 代替りの提案をする

例えば、「別の機会に」「〇〇君に代わってもらいます」



※アサーションを使えば、相手のいやな気持ち（ストレス）を必要以上に強くせずに、自分の意思を伝えることができます。特に、断るときは、「今回は断るけど、あなたとの関係は大切にしたい」という気持ちを込めましょう。

## 資料 14①

### ○ 3種類の断り方を考えてみよう。

次の状況のときのそれぞれの断り方でのせりふを考え、実際に断る言葉を考えてみよう。その後、それぞれの断り方について、断った人、断られた人の気持ちを話し合おう。

次の日曜日に、友達から遊びに行こうと誘われました。しかし、その日は家族で出掛ける予定があるので、友達と遊びに行けません。

攻撃的な断り方

非主張的な断り方

アサーティブな断り方

## 資料 14②

### ○ やってみよう！アサーティブな断り方（ロールプレイング）

**場面A** 上級生からの依頼

依頼内容

放課後に、部活動の先輩からこう言われました。  
「今日の練習が終わったら、倉庫の掃除をしておくように。」  
今日はすぐに帰る必要があります。どのように断りますか？

断る言葉

**場面B** 同級生からの依頼

依頼内容

定期テストの3日前になって、同級生からこう言われました。  
「ノート取ってないところが見つかったんよ。ほんと悪いんやけど、明日までノートを貸してほしいんやけど、・・・かまん？」  
今日からテスト勉強をする計画を立てているので貸すことができません。  
どのような断り方がアサーティブでしょうか？

断る言葉

